

# 月刊しばうら

2023年 8月号

## 牛肉営業部

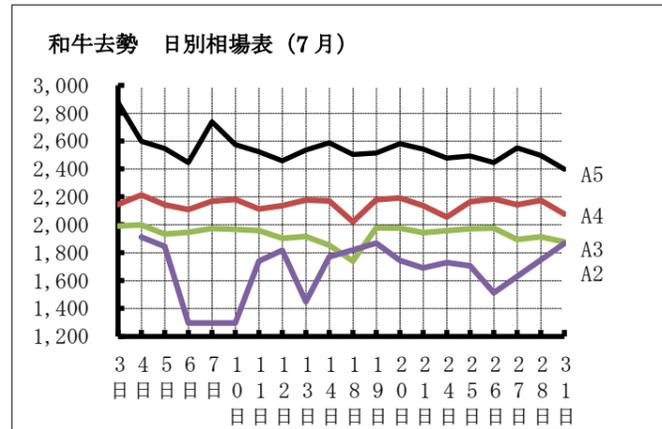
<7月の相場動向>

例年、7月は梅雨明け後にお盆に向けて引き合いが活性化するところだが、今年は全く盛り上がりえないまま終わってしまった感がある。

度重なる食料品の値上げ、電気代をはじめとしたエネルギーコストの上昇、円安などによる物価上昇により、節約志向は益々加速し、輸入牛肉でさえも通関実績で前年を下回り牛肉需要自体が低迷している。

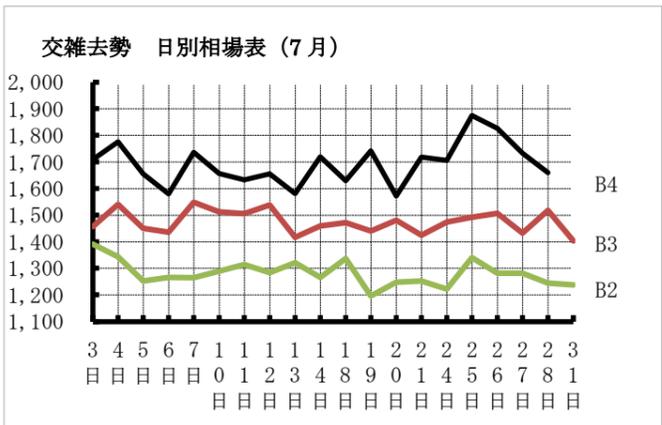
国内での消費意欲の低迷は需要にとって厳しい状況で、和牛・交雑・乳牛去勢全てで前年実績を下回り、特に和牛では全等級で前月実績を下回る結果となった。

訪日外国人の入国者数は6月に200万人を超え、確実に回復傾向となっているが、需要の活性化までには至っていない。



和牛去勢 (月平均)

	加重平均	前年同月比	前月比
A5	2,554円	-84円 96.8%	-39円 98.5%
A4	2,153円	-238円 90.0%	-45円 98.0%
A3	1,935円	-252円 88.5%	-29円 98.5%
A2	1,718円	-291円 85.5%	-66円 96.3%



交雑去勢 (月平均)

	加重平均	前年同月比	前月比
B4	1,681円	-18円 98.9%	+26円 101.6%
B3	1,471円	-75円 95.1%	+6円 100.4%
B2	1,286円	-88円 93.6%	+11円 100.9%

乳牛去勢 (月平均)

	加重平均	前年同月比	前月比
B3	-	-	-
B2	970円	-67円 93.5%	-7円 99.3%

<8月の牛肉輸入量予測>

財務省が発表した輸入通関実績によると、6月の輸入量は前年同月比24.3%減の4万3,664tで、うちチルドは27.7%減の1万6,504tと大きく下回った。フローズンは前年同月比22.1%減の2万7,160tと大きく下回った。

農畜産業振興機構によると7月の牛肉輸入数量は、前年同月比16.0%減の4万3,700t（チルド9.8%減・冷凍19.6%減）、8月は16.5%減の4万4,700t（チルド9.5%減・冷凍20.4%減）で予測している。

チルドは需要の低迷や現地価格の高騰により輸入量は減っている。フローズンは国内輸入品在庫が多い中、為替の影響による減少もあり、かなり下回ると予測している。

輸入牛肉通関量		6月	前年同月	前年同月比
チルド	豪州	7,598	7,112	106.8%
	米国	7,626	12,553	60.8%
	その他	1,280	3,168	40.4%
	合計	16,504	22,833	72.3%
フローズン	豪州	10,829	13,477	80.4%
	米国	9,731	10,526	92.4%
	その他	6,600	10,862	60.8%
	合計	27,160	34,865	77.9%

出典：食肉速報 単位：t

<8月の全国出荷頭数予測>

農畜産業振興機構による8月の出荷予測頭数は、全体で前年同月比100.3%の8万6,100頭で、品種別にみると和牛は1.4%増の3万6,900頭、交雑種は2.0%増の2万頭、乳用種は2.3%減の2万7,700頭と予測している。

東京食肉市場の8月のと畜頭数は6,640頭を予定しています。

<8月の牛枝肉相場見通し>

本来取引が活性化するはずの梅雨明けから8月初旬において、盛り上がり無く推移している現在の状況は、牛肉需要の低迷と言う他がない。また出荷予測においてもほぼ前年並みであることから、供給不足による取引の活性化も見込めず、相場は前年を下回る推移が想定される。コロナが5類に見直されたことによる行動制限解除や、回復する訪日外国人による需要の活性化に期待したい。

和牛去勢	価格予測	交雑去勢	価格予測
A5	2,350~2,800	B4	1,500~1,700
A4	2,100~2,300	B3	1,300~1,400
A3	1,950~2,050	B2	1,200~1,250
A2	1,900~1,950		
乳牛去勢			
B3	1,000~1,050		
B2	900~950		

## 豚肉営業部

6月の全国と畜頭数は、前年同月比0.9%減の132万7,179頭となった。また、6月の豚肉通関数量は8万1,422t（前年同月比8.9%減）と前年を下回り、前月比では9.3%の減少となった。内訳はチルドが3万998t（12.1%減）、フローズンは5万424t（6.8%減）となった。

2022-2023年の需給量と推定期末在庫						
月	供給量		推定期末在庫		推定出回り量	
	生産量	輸入量	国産物	輸入物	国産物	輸入物
6	73,206	89,288	21,153	192,277	74,366	73,970
7	67,448	83,013	21,249	200,051	67,235	75,239
8	70,579	86,492	20,365	207,966	71,378	78,577
9	72,682	72,520	19,371	204,472	73,540	76,014
10	75,562	75,744	19,698	196,107	75,147	84,109
11	81,124	87,886	18,751	195,556	81,933	88,437
12	79,634	68,853	19,816	185,413	78,413	78,996
1	77,331	74,837	18,538	188,666	78,557	71,584
2	72,899	71,250	19,905	189,121	71,425	70,795
3	81,586	69,027	20,232	189,572	81,112	68,576
4	73,794	109,570	20,573	204,045	73,312	95,096
5	76,116	89,726	20,193	223,902	76,372	69,869
6	73,486	81,311	19,586	225,208	73,928	80,005
比	100%	91%	93%	117%	99%	108%

出典：農畜産業振興機構 比：最終月の前年同期比 単位：t

4月豚肉通関実績					
国名	冷蔵	前年比	国名	冷凍	前年比
アメリカ	14,681	86.7%	デンマーク	3,048	41.1%
カナダ	13,095	82.9%	スペイン	14,670	76.4%
メキシコ	3,219	128.7%	メキシコ	8,894	102.1%
			アメリカ	7,062	151.4%
			カナダ	4,414	156.9%
合計	30,998	87.9%		50,424	93.2%

単位：t

<7月の豚取引の推移>

	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
3日	64,300	705	69+5	456
4日	66,500	702	690	734
5日	43,600	705	688	664
6日	60,800	702	693	498
7日	58,000	718	705	789
10日	63,000	731	722	592
11日	64,200	719	700	843
平均	60,057/日			654/日

7月に入り暑さも厳しさを増し肉豚の生育にも影響を与え始めた。全国と畜頭数が低水準となったことに加え、海の日・三連休に向けた手当てが重なったことによって相場は700円台の高値で推移した。

	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
12日	59,500	714	705	603
13日	62,400	722	709	563
14日	63,200	712	698	912
18日	70,200	715	695	555
19日	67,800	684	656	830
20日	63,100	650	631	649
21日	63,600	646	627	1,021
平均	64,257/日			733/日

連休のため稼働日が少なかったものの、全国と畜頭数はそれほど増えず、低調に推移した。連休明けの手当てもみられず相場は軟調な展開となった。

	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
24日	63,400	644	629	615
25日	64,000	629	622	700
26日	60,800	635	622	664
27日	63,000	633	620	645
28日	61,600	640	631	952
31日	63,600	656	647	692
平均	62,733/日			711/日

全国的に猛暑が続き出荷頭数は低調に推移し、全国と畜頭数は6万頭台前半が続いた。末端の荷動きは鈍く、国産相場高が続いたことによって輸入物へのシフトがみられた。

<8月の豚枝肉相場見通し>

農林水産省による令和5年8月の肉豚出荷予測は129万9,000頭（前年同月比98.3%）と予測している。

当市場の8月の集荷・せり予定頭数は1万5,000頭、1日あたりでは約750頭を見込んでいます。

農畜産業振興機構によると8月分の豚肉輸入見込数量は、総量で7万8,600t（前年同月比90.9%）、内訳は冷蔵輸入量が3万2,500t（同96.1%）、冷凍輸入量は4万6,100t（同87.6%）と予測。

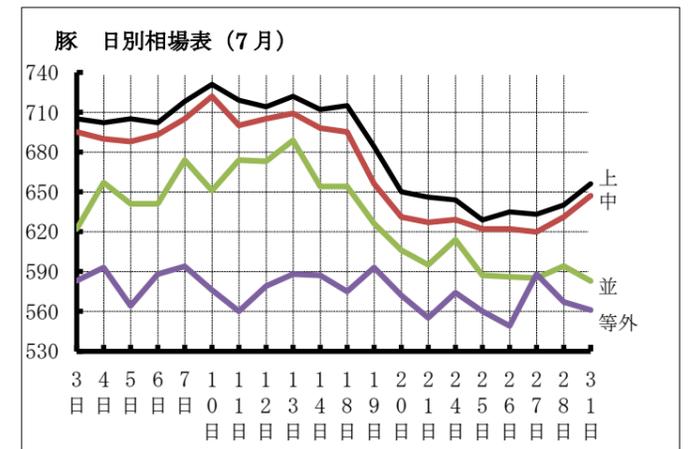
冷蔵品輸入量はカナダの通関がずれ込むものの、為替の影響や北米産の現地相場の高騰などから、前年同月をやや下回ると予測する。また3ヵ月平均では前年同期をかなりの程度下回ると予測する。

冷凍品輸入量は国内の輸入品在庫が多いことに加え、スペイン産の輸入量が前年同月に多かったことなどから、輸入量は前年同月をかなりの程度下回ると予測する。同じく3ヵ月平均でも前年同期をかなりの程度下回ると予測する。

今年の8月はコロナが5類に見直されたことによって、盆休みの帰省などで地方需要は底堅く推移すると予想される。その一方で、盆休み以降は消費者の節約志向によっては全体的な荷余り感が強まる可能性もありそうだ。

供給面では猛暑や疾病による増体不良によって出荷は減少すると予想される。

以上のことから当市場の上物平均価格は680円前後、中物平均価格650円前後の展開と予測する。



東京都港区港南2-7-19

東京食肉市場株式会社

TEL:03-3740-3111 FAX:03-3472-0127